



刊夕日六十二月七

九州遊記 (一)
鳥田忠夫

九州へぶらり旅をしたのは二月末であつた。東京でまだ邸などの屏からのぞく梅の堅い蕾を見て發つた私は、二日のうち、満開すぎた黄ばんだ南國の梅林を見て驚いたことであつた。

朝、關門海峡を連絡船で渡す時、甲板には冷たい一月の雨がしぶいてゐた。私は着更へを入れたトランクをただ一つ握つただけで、随分氣輕な旅である。そし

て始めて踏む九州には、私の作品を讀む二三の未見の友人が居る丈だから、私に「呑氣な旅である。門司で鹿兒島行の急行に乗る。行く先を、あゝか、斯うか」とまだ考へてゐる。

博多を通る頃雪であつた。午近いので食堂車へ入る。食堂が半分、二等が半分に仕切つた車である。ナイフで肉を突つてゐると窓外の景色が變る。景色ばかりでない。久留米を通る頃はいつかまた雨になつてゐる。食堂車は私の外に、折から選挙前として代議士候補らしき紳士が二三人ゐるだけである。雨は小やみとなる。

活版印刷の御用命を御願致します

明鮮美優 嚙可速敏

所刷印日每警常 五三町橋長町平 (番〇三六話電)

定一紙金貳錢 一ヶ月廿錢 三ヶ月五拾錢 半年一圓 一年一圓五拾錢

料一紙五錢 一ヶ月一圓 三ヶ月一圓二錢 半年一圓五錢 一年一圓八錢

日刊 印刷部 人川 昭文 社 本社下町番地 (電話六三〇〇)

寄書

さて行先がまだ腹の中できちんと決つてゐない。

理想的耐水耐熱接合劑

キングパスト

●水か微温湯で溶せばすぐ使へる簡単な膠着劑
●一名コナニカワ
●四季を通じ一度ついたら膠着力は絶對的
●理想的完全耐水耐熱の可驚威力を發揮し防蝕の効果著し

小野屋藥店 電話四四番

謝近火御見舞

材木町一同

藤沼眼科醫院
吉田眼科醫院
新妻眼科醫院
炭屋醬油株式會社
ヤマト醬油株式會社
白井一物店
柏屋染物店
阿部順傳
草野泉一
金成順一
カフエー松ケ岡

二十七日替り三日間限り

◆突如公開◆

マキノ超特作 市川右太衛門主演

影法師捕物帳大會

前後二十五卷上映

帝キネマ作品

闇夜行路 卷五

藤間林太郎沖田英二主演

三十日替り四日間限り

帝キネマ連續特作 大江戸空中篇

第三 **忍術膝栗毛**

實川延松、阪東豊昇、久野あかね主演

マキノ特作

小品三曲集の中 宿命篇

武士道華かな頃

小金井勝、松浦築枝主演

マキノ超特作

小年俱樂部連載

神州天馬俠 第三

湖南の三騎七篇

魔人隱形の印篇

高木新平再入社第一回作

土曜學生生デ

帝キネマ **有聲座**

謝火災御見舞

織田材木店

今夕火災の際は早速御馳付け御盡力被下され様を以て大事に至らず鎮火致候段厚く御禮申上候一々拜趨御禮申上可き筈の處混雜中御尊名伺漏れも可有之乍略儀以紙上御挨拶申上候 敬白

昭和三年七月廿五日

平町紺屋町

森川泰一郎

町平 吉田眼科醫院

科外 門線 科線

× 入院應需

上田外科醫院

電話一三九番

例年の通 夏期謝恩大興行

新版第壹篇

大政談

主演 大河内傳次郎 監督 伊藤大輔

◇演助ら はみ藤伊・子蓉村梅・助之仙村中・江直見伏・清川賀・二永木高◇

◇巷の戸江大々怪々奇前越胡大行奉名ひ争の玉懸玉善とん得を之刃妖の對一坤乾◇

本邦映畫界最高權威者の結合に依り日本映畫藝術の終極の殿堂を確立すと敢て誇り得らるゝ大作品... 若人よ!!! よし小チユーマの名は知らずとも椿姫は知らざるべからず...

椿姫

夏川静江・高木永二・東坊城恭長・三樹豊主演

◇日活特作品 故尾上松之助遺寶 監督... 築山光吉

町人天下

片岡松燕・中村吉十郎・片岡長正・實川延一郎助演

料金 普通席一金拾錢 壹等席一金參拾錢 特等席一金五拾錢

七月二十六日ヨリ 土曜學生生デ

高級 常設 **平館**

電話四六六

外炭の壓迫で……

小炭礦の打撃著し

經營難打開の爲め合同

打撃く財界不況の打撃を受
けて石城の各炭礦は一部特
殊のものをのぞいては何れ
も依然として外炭の壓迫そ
の他で經營難に陥つてゐる
ものが少なくない有數炭礦は
一定方針の下に各社採炭制
限の協定を行ひ景氣回復の
季に備へてゐるが小炭礦は
直接財界の影響を被ること

普通賣より

共同販賣は高値

米價低落の對策として適切

石城方部の産米は郡農會其
の他の指導により漸次改良
され磐城米として他地方に
も移出されてゐるが

販賣方法 に改善の
必要がある事を不況の結果
米價が低落したので氣づき
出し昨年頃から各地方部で共
同販賣を開始し出した、最
近では大浦、磐城、勿來、
高久、錦各町村に於て數回
に亘り共同販賣を行つたが
その成績を見ると共同販賣
による

徒弟表彰

昨日の總會で

既報昨日小名濱小學校講堂
に開かれた平警察署管内理
髮業組合總會席上表彰され
た優良勤績徒弟左の如く

△平町木村由三郎方坂本豊
勝(九) 宮川幸吉方石井未
吉(三) 平塚一(方)手塚ふ
み(三) 加藤卯之吉方加藤
保(三) 石崎幸一方上原幸
太郎(三) 同佐藤長平(三)
高木貞雄方平子敏行(三)
同遠藤喜雄(三) 大谷未治
方井上榮一(三) △湯本町
渡邊はる小泉勝翁(三) △平
山くま方中野野(三) △平
磐崎村佐川松太郎方伊藤
一郎(三) 小松もと方豊田
やぶ(三) △小名濱町上遠
野利喜松方本田久雄(九)
渡邊忠太方古川冬三(三)

油鍋に飛火し

天井を燃え抜く

昨日紺屋町の火事に
消防隊長足部に裂傷

昨日午後六時頃平町紺屋町
磐城食堂のコンク場に於て
コンク依田省三(七)が料理
中フライパンに飛火が遠入
り一時に燃え上り天井を燃
え抜いた騒ぎに消防組出動
他へ延焼を免れ漸く鎮火し
たが損害五百圓尙ほ消火に
盡力中であつた平消防組伍
長金成泉一郎君は左足に裂
傷を負へ六針の縫合手術を
受けた

轢死が一位

平署管内の
變死者調べ



仕器の手入

平署管内に於て本年一月以
降六月迄半ヶ年間の變死者
は

▽青銅、艶消銀 の様な
ものはソング水で洗ふだけ
でよろしい。もし古くよこ
れたものは熱いソング湯に

募集

文藝其他投稿
を募集します

は轢死二名、轢死二十一名
壓死十四名、窒息死四名其
の他二十五名であるが轢死
壓死の多いのは何れも炭坑
内における出来事で炭車に
轢かれたもの落岩の下敷と
なつて轢死した者等である
なほこの變死を月別にして
見ると四月が一番多く三月
二月には殆どなかつた

判檢事送別會

平町
諸官衛及び學校長辯護士團
は廿八日午後六時より大真
に於て榮轉判檢事の送別會
を行ふ由

平の傳染病八十七名

昨年より四十三名多い

平町の痘瘡の流行から引續
き腸チフス其他の傳染病が
流行し町當局では患者の收
容に隔離病舎を増築した程
で町が受けた影響は甚大なも
のがあり殊に暑さがはげし
くなるにつれ傳染病の流行
期節となつて來る一町當局
では平署と協力し豫防を行
十分間位つけ、やはらかな
布で洗ひますれば綺麗にな
ります。銀の筥などもこの
方法で綺麗になります。又
青銅や艶消銀器に緑青か生
じたときには、醋酸ではい
けませんから御飯粒を糊に
ねつてその部分につけ、そ
の上へ木綿の布を張つて置
きます。からくに乾上げ

馬脚が太すぎて

博覽會に出せぬ

石城組合遺憾がる

石城産馬畜産組合では今秋
東京に開催される御大典記
念馬博覽會に郡下からも
出陳するやう勸誘中である
が出品馬皆無の状況である
原因は從來馬足の太いのを
奨励した關係ト乗馬用とし
て出陳に適するもの見當ら
ないため同組合では非常
に遺憾としてゐるなほ郡内
の産馬は大正十年ころに比
し親馬は約千頭位増加を見
たが反對に出産馬数は却て
減少してゐる

危険器具

平署管内勸行

近來思想悪化や暴力横行等
ともすれば及傷沙汰におよ
ぶが如き危険も少くないこ
とからその筋ではこれ等に
類する仕込銃或器等の販賣
所持に關し新取締令を立案
中のところこの程完成を見
たがこれによつてみるに右
或器等に關する所持者は正
式に警察署において登録す
るを要し若しこれに反する

警中選手決定

既報
來る廿九日全國中學校野球
大會東北豫選大會のため仙
台に遠征する警中野球部の
選手は過日部長その他先輩
の詮衡により左の如く決定
した

- 吾雄高次 次雄夫郎郎
- 忠文重徳東 行次二五
- 野平林本田 林部藤倉
- 水大小坂吉細 小阿佐籠
- 捕投(一)三遊左(中)右補
- 森田記者新任 福島

柔劍道大會

平町が開催地
警中健兒猛習

本年度縣下中等學校体育大
會の柔劍道開催地は平町で
ある爲め警中では昨今これ

授 教

- 裁縫 奥田式及び水引細工
- 華道 古遠州生花、小原流盛花
- 茶の湯 裏千家
- 平町白銀町(平劇場前)
- 高橋光春
- 電話六三八番